

高齢者を大切にしよう

高齢化が進んでいる今日、豊かな知識や経験がある高齢者の様々な分野での活躍が期待されています。

しかしながら、働くことや社会参加が阻まれたり、虐待を受けたり、やみ金融や悪質商法の被害者になったりなど、高齢者の人権問題が社会問題として注目されています。

人を年齢で決めつけることなく、一人ひとりの多様性を認め合い、高齢者が社会になくしてはならない一員であることを認識しましょう。



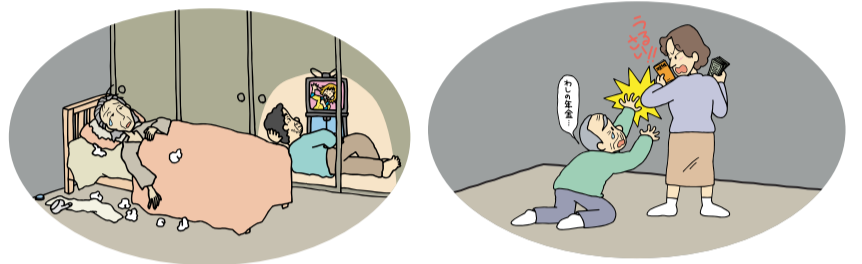
金沢市

高齢者虐待をなくそう

家庭内における高齢者に対する虐待は、介護をしている人の負担の蓄積や痴呆の問題、過去の人間関係によるものなどが原因で起きると考えられます。

高齢者虐待とは、単に暴力による身体的虐待だけでなく、「十分な介護をしない」「本人の年金を取り上げる」といった行為も虐待に当たります。また、このような虐待をしている人の多くは虐待の意識がないことが金沢市の調査でわかりました。

高齢者虐待は、高齢者の人権を侵害し、心身に深い傷を負わせ、時には生命を奪う行為であることを認識する必要があります。



- 介護の放棄・世話の放任：ごはんを食べさせない、風呂に入れない、ごみを放置する、医療・介護サービスを受けさせないなど
- 心理的虐待：汚い言葉で罵る、無視する、恥をかかせるなど
- 経済的虐待：年金や預貯金を取り上げる、本人の同意を得ない不動産の処分など
- 身体的虐待：殴る、蹴る、つねる、ベッドに縛り付けたりするなど
- 性的虐待：性行為の強要、下半身を裸にして放置するなど

金沢市

人にやさしい社会をめざして

障害のある人の「完全参加と平等」の実現に向けて、制度面や物的な面での様々なバリア(障壁)を取り除く施策が進められています。

しかし、障害のある人たちを特別扱いすることにより、知らず知らずのうちに心に大きなバリアをつくっていませんか。

見えない心のバリアを取り除き、すべての人にやさしい社会を築きあげることが大切です。



金沢市